

# 神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第119号(通算)

令和5年9月29日(金)発行

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるとおり、今週に入り、朝夕はだいぶ過ごしやすくなりました。今日は**十五夜**、一年で最も美しい月が見える特別な日です。十五夜は旧暦の8月15日とされてきました。今では、毎年9月中旬～10月上旬の間に十五夜(旧暦8月15日)は、やってきます。ちなみに来年は9月17日です。

【**中秋の名月**(ちゅうしゅうのめいげつ)】とも呼ばれ、秋の真ん中に出る月という意味があります。古来日本では、平安時代には月を眺めながら過ごす風習が始まったそうです。今夜見られる美しい月に、ススキ、月見団子、農作物(芋類・粟)等をお供えしてみましょう。



## 校長 散策

### ①竹屋(たかや)神社

竹屋と書いて「たかや」と読むこの神社は南さつま市加世田宮原にあります。かつては鷹屋大明神と称せられ加世田郷の惣社だったそうです。加世田において最も古い神社の一つだそうです。この神社が変わっているのは、焼酎の神様を祀っているというところです。古事記の神話部分のなかに天孫降臨で有名なニギノミコトの妻のコノハナサクヤヒメが3人の皇子を出産するシーンが出てきます。「どぶろく」が密閉された容器の中で蒸され、焼酎が蒸留される様子に例えられることが由来だそうです。ご祭神として3人の皇子ホデリノミコト(海幸彦)、ホスセリノミコト、ヒコホホデミノミコト(山幸彦)と妃トヨタマヒメを祀っております。



### ②竹屋(たけや)神社

この神社は、漢字で書くと同じ文字ですが、竹屋(たけや)と読みます。ご祭神は、先ほどの3皇子のひとり、ヒコホホデミノミコト(山幸彦)と妃トヨタマヒメが祀っております。こちらは、川辺の勝目にあります。



### ③杜氏の里 笠沙

鹿児島独特の酒である焼酎は、この地の近くにある黒瀬集落の男の人たちが焼酎醸造の技術を伝承し全国各地に赴いて活躍し、広めていき、いつしか彼らは「黒瀬杜氏」と呼ばれていました。また南さつまには、もう一つの重要な杜氏集団である「阿多杜氏」と呼ばれる人たちもいました。鹿児島の焼酎が南さつまにいた二大杜氏の活躍によって、鹿児島に止まらず、全国各地に広められたことに驚きました。



④ 黎明館



御楼門



十五夜のお供え物と南九州市のソラヨイの衣装



黎明館展示室内外の様子

2年総合コース職場訪問

令和5年8月29日(火)

2年制の総合コースのみんなが、南九州市役所の協力を得て、南九州市役所の色々な部門を職場訪問し、仕事内容を学んできました。



2 学 年 P T A

令和5年9月13日(水)

2学年PTAでは、学年の概況と12月の修学旅行についてJTBからの説明があり、3年次の学習についての説明がありました。



最後は、生徒と保護者が一緒に教育講演会を聞きました。(講演会は、次週紹介)

最後は、生徒と保護者が一緒に教育講演会を聞きました。(講演会は、次週紹介)